



ROTARY BRINGS HOPE

ロータリーは希望をもたらす



国際ロータリー会長 M. A. T. カパラス 第256地区ガバナー 藤田 説量(三条)

会長—日戸 平太 幹事—上木 六治 SAA—外山 雅也

例会日 毎週水曜日 12:30

例会場 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内(TEL 34-3311)

事務局 三条市旭町2-5-10 (TEL 35-3477)



出席率: 会員 67名中 49名 : 先々週出席率: 88.06% (前年同期 84.93%)

今日のお花: 菊、きりん草

ヴィジター: 三条南より 馬場茂夫君、野島広一郎君、田中康雄君、鈴木幸一君

ゲスト: 三条郵便局長 森 ^{まもる}衛 殿

先週のメイクアップ: 9/3 塩沢へ 渡辺惣吉君

9/5 燕へ 山本正夫君

9/6 IGF津南へ 藤田説量君、山本福七君、野村竹三郎君、
小林英雄君、梨本清一君、渡辺宏策君

9/8 三条南へ 五十嵐総一君、捧 賢一君 高橋清見君

会長挨拶: 日戸会長

シンクロナイズドスイミングの健康な脚は水と音楽と共に、サーカス、曲馬団の足芸—たらいまわしを、ジントの音色を、思い出させる。留置所に思想犯がたらいまわしになった時代があった。腹芸による政権のたらいまわしは続いて行くのだろうか。救急医療体制が整って、救急車のサイレンからたらいまわしの患者さんの心配はなくなった。昨日は9月9日、救急の日。

幹事報告: 上木幹事

◦松戸西ロータリークラブより 認証状伝達式のご案内

11月2日(日) 松戸玉姫殿

◦ロータリー・ダイアリー カレンダーのご案内

◦NTTより 広報誌

幹事報告： 上木幹事

- 1987. 6. 7～10日 ドイツ・ミュンヘン国際大会へのご案内
- 共同募金会三条支会委員会のご案内 9月9日(火) 午後1時30分より 市役所
- ロータリーの友英語版お買い上げのお願い
- 交通安全市民大会準備会議開催のご案内 9月9日(火) 午前10時より
三条市役所 2階会議室

ニコニコBOX ￥6,000



- 五十嵐(総)君 ニコニコBOX、協力して。
- 小林(英)君 ガバナー月信№3が出来ました。小さい事でもお気付きの点がありましたらお教え下さい。次号からの参考にいたしますので。
- 大塩君 本日、手芸、コットンコーナーを新設オープンさせていただきました。
- 堀川君 青少年交換学生三条に来日。新潟地区としては新潟以外十日町と三条だけです。よろしくお願ひします。
- 斎藤(弘)君 交換学生歓迎会、多数の御参加ありがとうございました。
- 加藤(紋)君 8月27日、交換学生歓迎会ありがとうございました。エイミーの花嫁姿はいかがでしたか？

委員会報告：

中條地区拡大委員長

ガバナー事務所からの指示で、栄RCをつくれとのことで鋭意努力をして参りましたが、これに就きましては延長戦ということで継続して参りたいと思っております。これで終わりかと思いましたが急遽三条で3番目のクラブを作る様にご指示を頂きました。

このことに就きまして、初代会長に御指導を頂き、三条北クラブの名称でよいのではなかろうかとの話で、現在仮称三条北RC設立ということで動いており、今の処20名近くになり、例会日は火曜日を予定しております。

どうぞこれからも皆様のご協力を頂かなければ第3のクラブが出来ないわけでありませぬ。見附RCの時と同様新設クラブは30名位でなければならぬので皆様から会員の御推薦をお願いします。

卓話：

人に会う旅 経田 裕介殿



自分自身人生とは何だろうなーと考へます。学校で子供を教へて参りまして23年経つわけですが、いろいろな生徒子供それから父兄の方々或いは仲間の先生方に会って、結構生きるということは旅ではなかろうかという考へが自分の一つにあります。

「幕末の影武者」という本の主人公が寺泊出身の本間という初期の頃の勤王の志士なわけだ。寺泊の醤油屋に生まれまして東京を経て京都に出かけて行き、結局最後は京都で土佐の連中に29才位で殺されてしまうのですが、非常に新潟県の人間としては珍らしい動き方をした。又当時天皇に直接会える人はこの人だけで、派手な姿で京都を歩いてたこの小説に書いてあります。時代がずーと廻って来て、新潟県の人間とはそういう処があるのかなあという感じ

もします。結局この本は主人公本間誠一郎の人生の旅で、途中切り合いがあったり女との出会いがあったりして、29才で終わってしまうということになるわけですが、こんど自分自身が人生を生きて来たことを考へまして、いろいろな人と出会って特に私は英語を教へておるものから、一度は外国に行って来たいと思へておったのですがなかなか行くチャンスに恵まれませんでした。ところがアメリカの人と文通をしたり、もう一つは新潟大学に交換教授として来た先生が家族揃って来たものですから、中学2年生と小学4年生の子供をつれて来まして、上の子を私の受持ちクラスに入れたのがきっかけで、その先生はもともとチェコスロバキヤの人で、1968年ソ連がチェコに改めて行った時アメリカへ留学をしていた方をたよってアメリカへ亡命された方ですが、一度アメリカへ遊びに来いと言われて、5年ぶりに約束を果たすためにアメリカに行きました。折角行くのですからアメリカで文通をしていた方にも連絡をとりまして尋ねて歩こうというので大変安上りな旅が出来たのです。

私自身14年生まれですので戦後のアメリカの文化が流れ込んで来た影響を受けている訳ですので、アメリカを一度この目で確かめて見たいということもありましたし、又日本の歴史を考へて見ますと、中国だったり、或いは韓国だったり非常に外国の文化の影響を受けていると言いますか、それを栄養分として日本の国が育って来て、その時代時代に外国の影響を受け取り入れているのが日本人は巧みであると思へます。そういうことと我々自身が日本の文化を日本人の手で作って行くということと、外国との関係をこれからどう風を持って行かなければならぬか、又日本が高度成長時代には文化面でも何もかも、日本は日本でやって行ける、外国の物は余り取り入れる必要もないし、眼を向ける必要もないという様なことが文学の世界でもありましたが、最近では一寸反省されておられます。

日本が島国であるが故に、取らなければならぬ道と云いますか、活ける道をどう風にして行ったら良いだろうかと云ったことがあります。そうしますとやはり旅に出て見なければならぬという点がありますし、旅もどこかの温泉に行って仲間と遊んで来る物見遊山的な非

に税金を掛けるとなると、おそらく貯金放れをするだろうと予測を立てております。若し郵便貯金がすたれると、日本の財政もおかしくなるのではないのでしょうか。では民間活力の資金を導入すれば良いではないかと思われるでしょうが、色々な意見もございますが、郵政省が大蔵省へ出す資金の金利は非常に低いもので、国が運用しているものですから、民間の資金を利用するとなると、高い金利のものを国が払うということになり、逆に国の財政は赤字になるという結果になります。

もう一つ郵政省には簡易保険がありますが、これは簡便に入られるということで取組んでおるものですが、民間保険は非常に額が大きいですが、簡易保険は1,300万円しか入れません。今の貨幣価値からいって1,300万円では補償されないと云う考えがありまして、郵政省としても限度額の引上げについて国会に働きかけるのですが、仲々民間並には行きませんが実態で、今簡易保険は非常に伸び悩んでおります。例えば先般日航機事故で500人が死亡されましたが簡易保険に入っておられた方は、その内89人で7.8%ということで、市場占有率は低いということでした。

簡易保険の資金は地方還元をされております、三条市の場合は34億5千万円の簡易保険の資金が、公共施設の為に融資されております。あくまでも社会資本の充実ということで、郵便貯金、簡易保険がその様な形で使われていることをご理解頂ければ幸いです。

それから郵政省には今一つの電気通信政策局がありまして、電波管理をやっております。今後附加価値通信網が発達してくればテレビ1台で買物からすべてが出来るという時代になって来ています。新潟市にテレトピアの指定を郵政省がして3年になります。その辺電波関係になると郵政省は監督官庁になるのですが、郵便貯金、保険はサービス官庁であり、一般のお店と同じ前掛け精神でサービスをやって行かなければなりません、只電波になりますと監督官庁になり許認可権を持っておるといった形が郵政省であります。

私は職員の意識変革を図らないと郵政省も分割民営化されるのではないかという危機感を持っており、その意味に於て、毎日の様に組合の幹部を呼んでお話をしております。例えば管理者がブルースやワルツを踊ろうとして今音楽がワルツなのに、労組はジルバを踊る、なぜ労組がジルバを踊らなければならないのか、だから足を踏んだり、ぶつかったりするので、郵政省の経営を管理者が部下に伝達し、それを職員が素直に受けて、お客様を大切にするという初心に返って仕事をしなければ駄目だということに眼ざめて教育をしております。

どうか今後も何でも結構です、電話でも、通りすがりに寄って頂いて、色々な話を聞かせて頂ければ参考にして局の改善に、皆様へのサービスにしたいと考えておりますので今後共宜敷くお願い申し上げます。

次 週 例 会 9月17日 卓話 齋藤弘文会員

次々週例会 9月24日 IGF報告
